

# 報告 北海道洞爺湖サミット記念環境総合展2008 日本貿易会ブース来場者アンケート

社団法人日本貿易会 地球環境委員会事務局 企画グループ

6月19～21日、札幌にて開催された北海道洞爺湖サミット記念環境総合展2008における当会ブースへの来場者のうち、約800名に対して、環境意識度、企業、商社の環境への取り組みについての関心、当会ブースの評価等についてアンケートを行った。

回答者は、自身のことを環境への意識が「かなり高い」「どちらかという高い方」と考える方が約7割（有効回答数792に占める割合、以下同じ）で、「かなり高い」と考える方の8割以上が、過去に環境イベントへの参加経験を持つ。環境イベントへの参加経験者510名に、参加したイベントの内容を伺ったところ、環境展、環境セミナー、ごみ拾いが多かった。

## 1. 環境総合展2008への来場

来場の動機を伺ったところ（図1）、「環境問題に関心がある」が8割弱と高かった。また、企業の「環境ビジネスに関心がある」と「社会貢献活動に関心がある」を合わせて約4割となり、19歳以下では、学校行事等が約半数となった。

また、来場した感想を伺ったところ（図2）、約半数が「これからもっと環境に優しい生活を心がけたい」と回答するなど、来場により環境問題への意識が高まったことがうかがえる。また、企業の「環境ビジネスについてもっと知りたい」や「環境についての社会貢献活動についてもっと知りたい」も高く、展示等により、企業の環境活動への関心が高まったのであろう。さらに、自由回答欄でも、有意義だった、環境問題への関心が高まった、環境問題について総合的に知ることができる、このような機会を増やしてほしい等の評価が多かった。

## 2. 商社の環境事業への関心

当会ブースの展示を見て関心を持った商社の環境事業は（表1）、太陽光・風力発電、バイオエタノール、燃料電池、バイオディーゼル燃料を中心にクリーンエネルギー開発が高

図1 環境総合展来場動機（複数回答）

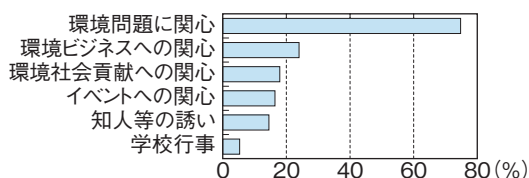


図2 環境総合展に参加して（複数回答）

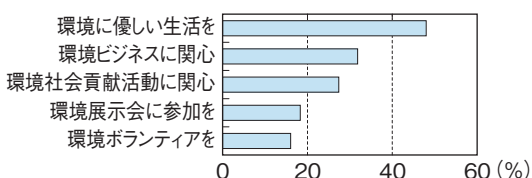


表1 関心を持った商社事業（複数回答）

（単位：％）

クリーンエネルギー開発	
太陽光発電	48
風力発電	39
バイオエタノール	25
燃料電池	23
バイオディーゼル燃料	21
メタンガス回収・再利用	17
水素燃料	17
地熱発電	15
リサイクル	
ペットボトルリサイクル	22
紙リサイクル	21
食用油リサイクル	18
プラスチックリサイクル	17
MOTTAINAI運動	10
自動車リサイクル	9
パソコンリサイクル	9
アルミニウムリサイクル	4
液晶薬液リサイクル	3
現像液リサイクル	2
生態系保全	
植樹	19
サンゴ礁保全	15
熱帯林再生	11
総合	
環境教育・人材育成の推進	17
自然災害の被災者支援	8
繊維グリーン物流	4

く、また、ペットボトルや紙等のリサイクルや、植樹等の生態系保全、環境教育・人材育成の推進等、各分野とも関心の高さがうかがえた。

上記を反映し、環境問題の解決に向けた今後の商社の役割については（表2）、半数以上が代替エネルギーの研究開発を挙げ、リサイクル製品の研究開発、リサイクルや省エネシステムの導入等の技術・研究開発の推進・導入とともに、環境教育・人材育成の推進への期待が高かった。

また、自由回答欄では、商社の世界的な環境問題への取り組みについての理解が深まった、今後の取り組みを期待したい等の意見が多かった一方で、新技術の導入は慎重に行ってほしい等の要望も寄せられた。

### 3. 日本貿易会ブースの評価

当会ブースでは、資源、自然、人間を守る商社の活動を放映するとともに、グローバルに広がる商社の環境プロジェクトをパネル（P.84参照）で展示したが、映像、パネルの内容共に、「よかった」「まあまあよかった」を合わせて6割以上の方の評価を得た（図3）。また、地球環境問題についてクイズ大会を行い、クイズ大会参加者の回答者345名のうち8割弱の方から、内容が「とてもよかった」「まあまあよかった」との評価を得た（図4）。これらの結果、全体として、「とてもよかった」「まあまあよかった」が約7割となり、イベント参加経験の豊富（6回以上）な方からも、6割強の評価を得た。

また、自由回答欄では、一覧できるパネルが分かりやすい、緑を基調としたシンプルな展示方法に好感が持てる、子供たちに興味を持たせるクイズがよかった等の意見が寄せられた。一方で、各社の具体的な取り組みが分かりにくい、主眼が分かりにくい、区画が狭い、もっとパネル展示を増やした方がよい、展示に電気を使いすぎ等、今後の取り組みにあたって参考となる意見もいただいた。

ご来場いただきました皆さま、アンケートにご協力いただきました皆さまに感謝申し上げます。



表2 今後の商社の役割（複数回答）

（単位：％）

代替エネルギーの研究開発	52
リサイクル製品の研究開発	35
リサイクルシステムの導入	34
環境教育・人材育成の推進	29
省エネシステムの導入	26
途上国等における環境保全活動の推進	19
植樹	19
生態系の保全	17
社員等の環境ボランティアの推進	11
排出量取引の推進	10

図3 日本貿易会ブースの評価

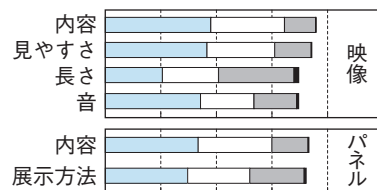
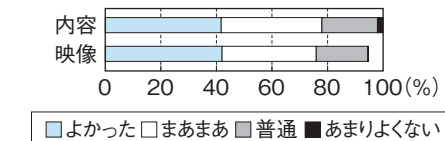
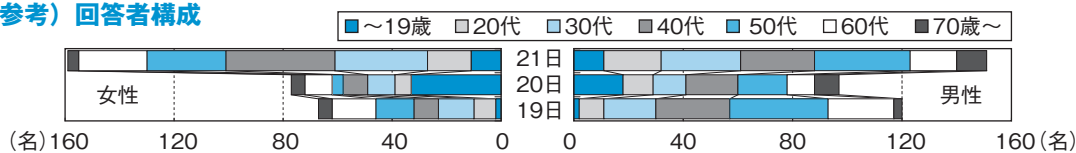


図4 日本貿易会クイズ大会の評価



（注）映像、パネルはアンケート回答者計792名、クイズ大会はクイズ大会参加者の回答者計345名に占める割合

#### （参考）回答者構成



（注）性別、年齢についての回答者計674名（男性369名、女性305名）の構成

#### （参考）回答者住所

北海道（501）、東京（13）、千葉（6）、神奈川・埼玉・愛知・広島（各3）、岐阜・大阪・兵庫（各2）、岩手・福島・栃木・茨城・富山・滋賀・京都・香川（各1）

（注）住所についての回答者計546名の構成